第１学年○組　学級活動（１）指導案

令和４年○○月○○日（○）　第○校時

指導者　　　　　　教諭　　○○　○○

男子○○名　女子○○名　　　計○○名

１　議題　　「メリハリのつけられるクラスになるために」

（ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決）

２　議題について

　⑴　生徒の実態

　　　本学級の生徒は、明るく元気な生徒が多く、授業中の挙手や発言も多く反応もよい。また、思いやりがあり、互いに協力しながら生活を送ることができる。一方で、集中力が続かなかったり、先を見通して行動したりすることが苦手な生徒や人間関係がうまく築けない生徒も一部いる。

1学期は、集団行動や体育祭での活動を通して少しずつ人間関係が構築され、規律ある学校生活を送ることができた。７月に第１回学級会を「クラスをよりよくするためにできることを考えよう」という議題で行い、「①給食準備を早くすること②授業中の私語の改善」についての改善策について意見を出し合い、合意形成を図ることができた。その後、協力しながら改善しようと取り組む姿が見られた。その中で、リーダーシップを発揮できる生徒が出てきた。その結果、様々なことにクラス全体で取り組もうとする基盤をつくることができた。一方で、生活リズムが崩れるなどの課題をもつ生徒も出てきている。

　　　２学期は、１０月末に行われた合唱祭において、合唱祭のクラススローガン「We are the champion　　　　～１年○組の歌声を響かせろ～」の実現を目指し、合唱練習や歌詞カードの作成などの役割を一人一人が責任をもって取り組むことができた。９月に「学級目標に近づくためには」という議題で第２回学級会を実施した。学級目標の「みんなで助け合い、まとまりのある差別のないクラス」になるために自ら考え、積極的に意見が言える生徒が第１回学級会よりも増えた。一方で、指名されないと発言できない生徒もいた。意見を交換する中で、「①協力しながら一つ一つの課題を解決する姿があるクラスになること」「②友達同士の集団の境をなくす」ことを一人一人が意識して生活することに決まった。班長と学級委員で構成される学級活動委員を中心に生活の改善を図り、「あまり話をしたことがない人と話をする」など班ごとに目標を定め、班長を中心に改善に向けて取り組むことができている。

⑵　議題選定の理由

　　　１学期の５月末に体育祭、２学期の１０月末に合唱祭が実施された。短い準備期間の中で、それぞれに分担された役割を協力しながら行事の成功に向けて取り組むことができ、より一層クラスとしてまとまることができた。また、第１回、第２回の学級会を経てクラス全体として取り組む力も育まれている。これまでの学級会はともに、学年で検討したものを議題として設定したが、第3回は各クラスで議題アンケートを実施し、計画委員会で議題を決定するなど、より生徒の主体的な活動を促している。アンケートの中から３分前着席などの具体的な課題も挙がっており、これまでに培ってきた協力性をクラス全体で互いに成長させていくための課題を挙げ、それを具体的に解決・改善に取り組んでいくことでメリハリをつけられるクラスにしていきたいという思いから本議題が選定された。

３　第１学年の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| よりよい生活を築くための  知識・技能 | 集団や社会の形成者としての  思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係を  よりよくしようとする態度 |
| 学校や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。  合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。 | 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見出している。  課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図っている。 | 学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。 |

４　事前の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時  活動の場 | 生徒の活動  〇計画委員会  ●全員の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す生徒の姿  【観点】（評価方法） |
| ○月○日（○）  帰りの会 | ●学級の諸問題に気付き、議題カードを書いて提案する。 | ・議題を選定する際の視点について助言する。 | ◎よりよい学級生活を目指し、進んで議題を考えている。  【態】（観察、提案カード） |
| ○月○日（○）  放課後 | ○出された議題から望ましい議題を選定し、決定する。 | ・現状を踏まえて、計画委員会で議題を決定する。 | ◎学級や学校の生活をよりよくするための課題を見出している。  【思】（活動計画、観察） |
| ○月○日（○）  放課後（学級の日） | ○活動計画を作成する。  （提案理由・めあて・話し合うこと・決まっていること・役割分担等） | ・提案者の思いが全員にも伝わるように提案理由の練り上げに努める。  ・前回までの反省を生かすという視点について助言する。 |
| ○月○日（○）  帰りの会 | ○話し合うことを全員に知らせる。  ●学級会ノートに自分の考えを記入する。 | ・話し合うことや決まっていることが共通理解できるよう助言する。  ・提案理由に沿った意見を書くことができるように助言する。 |  |
| ○月○日（○）  放課後（学級の日） | ○回収した学級会ノートに目を通し、意見を整理する。  ○必要に応じて、可視化できる資料や短冊を用意する。 | ・話合いの見通しをもつことができるようにする。  ・必要に応じて、短冊への記入をしておく等の助言を行う。 | ◎話合いの仕方などを理解している。【知】（活動計画、観察） |

５　本時の展開

　⑴　本時のねらい

　　　　よりよい学級生活をつくるため、学級の仲間の考えも生かしながら自分の意見をしっかり伝えることができるようにする。

　⑵　指導計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 活動の計画 | 指導上の留意点 | ◎目指す生徒の姿  【観点】（評価方法） |
| １　はじめの言葉  ２　計画委員の紹介  ３　議題の確認  ４　提案理由の確認  提案理由  体育祭や合唱祭といった学校行事を通してクラスの協力性が高まっています。また、学級会で決まったことを基にクラスがよりよくなるように取り組んでいます。一方、メリハリに関する課題があがっています。メリハリをつけられるようになることでよりよいクラスになると思い提案しました。  ５　決まっていることの確認  ６　話合いのめあての確認  ７　教師の話  ８　話合い  　　話し合うこと①  　「メリハリに関するクラスの課題を挙げよう」    　話し合うこと②  　「課題の解決方法を考えよう」    ９　決まったことの確認  10　振り返り  11　教師の話  12　おわりの言葉 | ・学級全体で考えることであることを確認する。  ・決まっていることを全員で共通理解　　できるようにする。  ・前回までの学級会で決まったことや話合いのめあてについて触れ、意識させる。  ・安易に多数決で決めるのではなく、それぞれの意見の理由を聞いて吟味することを伝える。  ・限られた時間となることを踏まえ、話し合うこと①については「比べ合う」ことからはじめる。  ・事前に準備した短冊を黒板に掲示し、追加の意見なども冒頭に確認してから進める。  ・「比べ合う」から「まとめる」段階に入る際において、意見がまとまらないときや自治的活動の範囲を逸脱しそうな場合には、適宜助言し、「提案理由」に立ち返りながら合意形成が図れるようにする。  ・学級会ノートを活用し、議題に沿って話合いが行われるように適宜助言を行う。  ・理由を基に最終決定ができるように運営をさせる。  ・終末の助言では、①合意形成したこと　への価値付けや個人や集団への称賛、　②今後の課題、③計画委員へのねぎ　　らい、④今後の見通しや実践についての意識付けなどについて簡潔に述べ、特に前回との話合いと比べて変容したところについて称賛する。 | ◎課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図っている。  【思】（観察・発言）  ◎見通しをもったり、振り返ったりしながら日常生活の向上を図ろうとしている。【態】（ワークシート） |

６　事後の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 生徒の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す生徒の姿  【観点】（評価方法） |
| ○月○日（○）  ～ | ・学級活動委員を中心に決まったことの実践をしていく。 | ・決まったことを学級全体で取り組めるように指導助言する。 | ◎他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。【態】（観察、活動） |
| ○月○日（○） | ・学級会の決まった内容を掲示する。 | ・意識的に課題解決ができるように促していく。 |
| ○月○日（○）  放課後 | ・学級活動委員会による取組の経過確認 | ・取組の現在の成果を確認し、今後の取組について共通意識をもてるようにする。 |
| ○月○日（○） | ・取組の振り返り | ・取組についての成果を確認し、振り返りを行う。 |